

■ 進捗報告会（加古川水系河川整備計画）の概要

第1回加古川流域懇談会
(H25. 12. 17)
資料4-1

(平成24年11月29日(木) 10:00~12:00 姫路河川国道事務所にて)

平成23年12月に策定された加古川水系河川整備計画（国管理区間）に基づく事業の進捗やその点検結果の報告を道奥委員、神田委員（加古川流域懇談会のメンバー）に行い、意見を伺いました。

報告会の内容

①河川管理者挨拶

平成23年12月に策定された加古川水系河川整備計画（国管理区間）に基づく事項の進捗やその点検結果の報告を行いますので、ご指導、ご意見をいただきたいと思ひます。



進捗報告会の様子

②主旨説明

進捗点検の進め方と本報告会の目的について説明しました。

- ・進捗点検として3年毎に加古川流域懇談会と毎年の進捗報告会を予定している。
- ・毎年の進捗報告会では、実施した事項の進捗、効果について問題が無いか確認していただくとともに、加古川流域懇談会に向けた調査、評価方法などについてのアドバイスをいただくことを目的としている。

③進捗報告（●：委員による意見、提案、◇：事務所回答）

●次年度以降の目標を記載することは出来ないでしょうか。可能であればガントチャート、工程表のようなものが望ましいと思ひます。
◇治水事業のように目標を示せる項目については、加古川流域懇談会の開催間隔である3年を目安に予定を示す方法について検討していきます。

●津波など急に議論すべきテーマが現れる可能性があり、加古川流域懇談会を招集する体制は整えておいた方がよいでしょう。

●正常流量の評価をどう考えていくのでしょうか。
◇正常流量が確保できているかどうかを確認していきたい。
●他河川との比較をしてはどうでしょうか。
◇評価することについて検討していきます。

●河川の流量確定に2年もかかるのは、国民目線でみれば遅いと感じます。

●掘削の再堆積について、上中流は動きながら動的に断面を維持するのがよく、最下流は静的に断面を維持するのがよいと思ひます。区間毎に考えを変えてもよいのではないのでしょうか。ダイナミズムを活かした維持が望ましいと思ひます。

④閉会

本報告会において、加古川水系河川整備計画（国管理区間）に基づいて実施したH23事業の進捗やその点検結果について問題がないことを確認し閉会しました。

●魚道整備効果の評価はどのように行うのでしょうか。遡上調査から遡上数で評価するのでしょうか。
◇水辺の国勢調査の結果から、対象とする魚種が横断工作物の上下流の生息域で確認されればよいという判断です。

●堤防除草の刈草の堆肥化試験の結果については、他河川にも情報共有した方がよいでしょう。

●加古川大堰の塗装について、新しい技術を取り入れコスト削減を図っていることを、流域懇談会で説明していけばよいでしょう。

●伐採後の樹木の成長具合に関するデータを蓄積していつて欲しいと思ひます。詳細な調査はできないと思うのでラフな調査でよいと思ひます。

●地域連携についてのアウトカムとして、参加者がどのような意識で参加したか等の評価が必要だと思ひます。アンケート、ヒアリングなどで情報を把握した方がよいでしょう。

●河川管理、点検など、これまで継続して実施しているようなものの報告は簡単なものか、なしでもよいと思ひます。

「治水」に関する主な実施内容

「洪水対策」に関する「加古川水系河川整備計画」の記載内容

整備計画の洪水対策箇所は、平成16年台風第23号洪水を対象とした目標流量に対して現況流下能力が不足する箇所とする。過去の被害発生状況や上下流や左右岸の治水安全度のバランスを考慮しながら、河川環境に配慮した洪水対策を実施する。（「加古川水系河川整備計画」P56）

平成23年度「洪水対策」の実施内容

平成23年度は「平荘地区」の河道掘削、「来住・大島地区」の築堤整備および付随する市場排水樋門等の整備を行いました。

「洪水対策」の進捗状況

空中写真凡例

整備予定箇所	—
H23年度実施箇所	—
過年度実施済み箇所	—

国管理区間	↑ ↓
河口、合流点からの距離	数字

平荘地区 (3.6~6.2k)
河道掘削：3.8k~6.0k付近



来住・大島地区 (16.2~18.6k)
築堤整備：17.5k~17.8k付近左岸
樋門：1基（市場排水樋門）



位置図 凡例

計画	掘削
	築堤	—
H23年度実施	掘削
	築堤	—
過年度実施済み	掘削
	築堤	—
	堰・橋梁改築	●

「河川環境」に関する主な実施内容

「生物の生息・生育・繁殖の場」に関する「加古川水系河川整備計画」の記載内容

過去と比較すると減少傾向にある瀬淵、わんど・たまり、礫河原については、生物の多様な生息・生育・繁殖の場であることから再生に努める。

過去と比較して局所的な変化はあるものの大きな変化は見られない水際植生、河口干潟については、生物の多様な生息・生育・繁殖の場であることから保全に努める。

(「加古川水系河川整備計画」P52)

平成23年度「生物の生息・生育・繁殖の場」の実施内容

平成23年度は、大野地区(8.0k地点付近)において、「わんど」「礫河原」の整備を行いました。

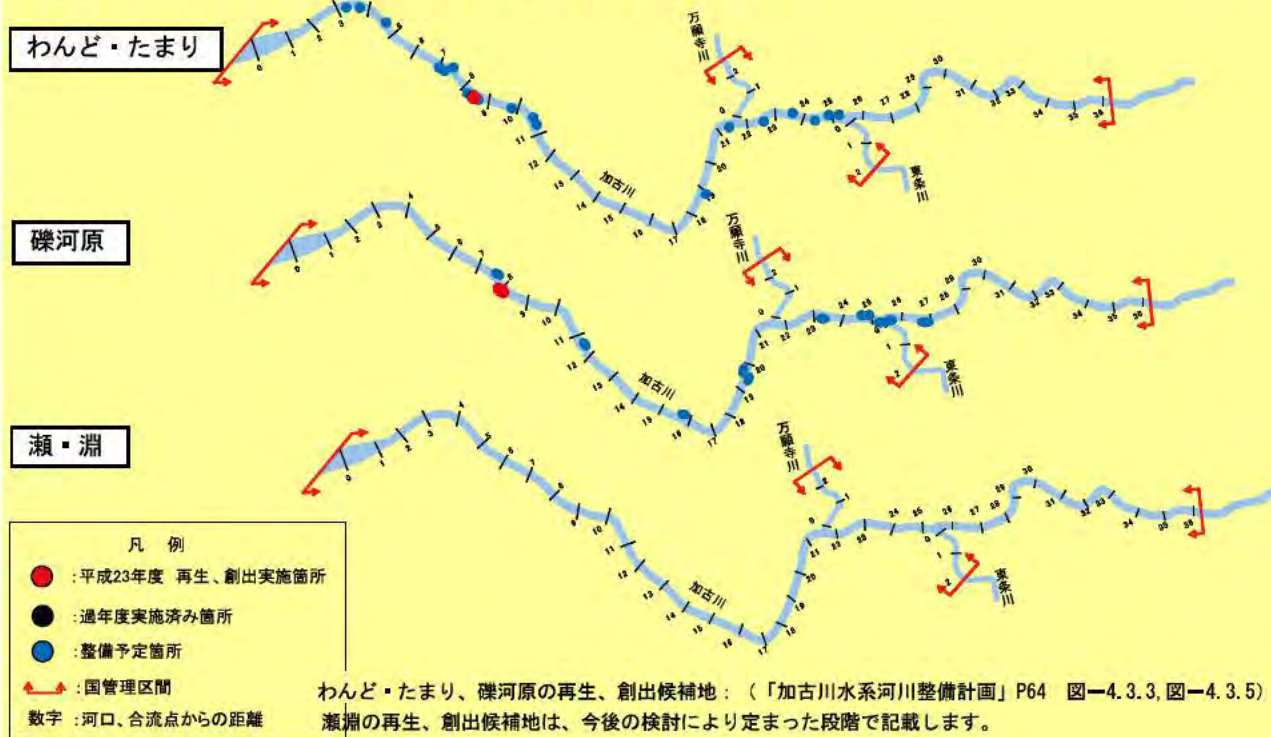


(大野地区 わんど整備箇所)



(大野地区 礫河原の整備)

「生物の生息・生育・繁殖の場」の整備の進捗状況



「魚類、甲殻類の移動の連続性」に関する「加古川水系河川整備計画」の記載内容

堰が支障とならず、加古川に生息する全ての魚類、甲殻類が、加古川全川(国管理区間)を自由に遡上、降下できるように、縦横断的移動の連続性の改善に努める。

(「加古川水系河川整備計画」P52)

平成23年度「魚類、甲殻類の移動の連続性」の実施内容

平成23年度には、万願寺川の阿形床固めについて、魚道詳細設計を行いました。

また、加古川大堰において、魚類の遡上調査を行いました。



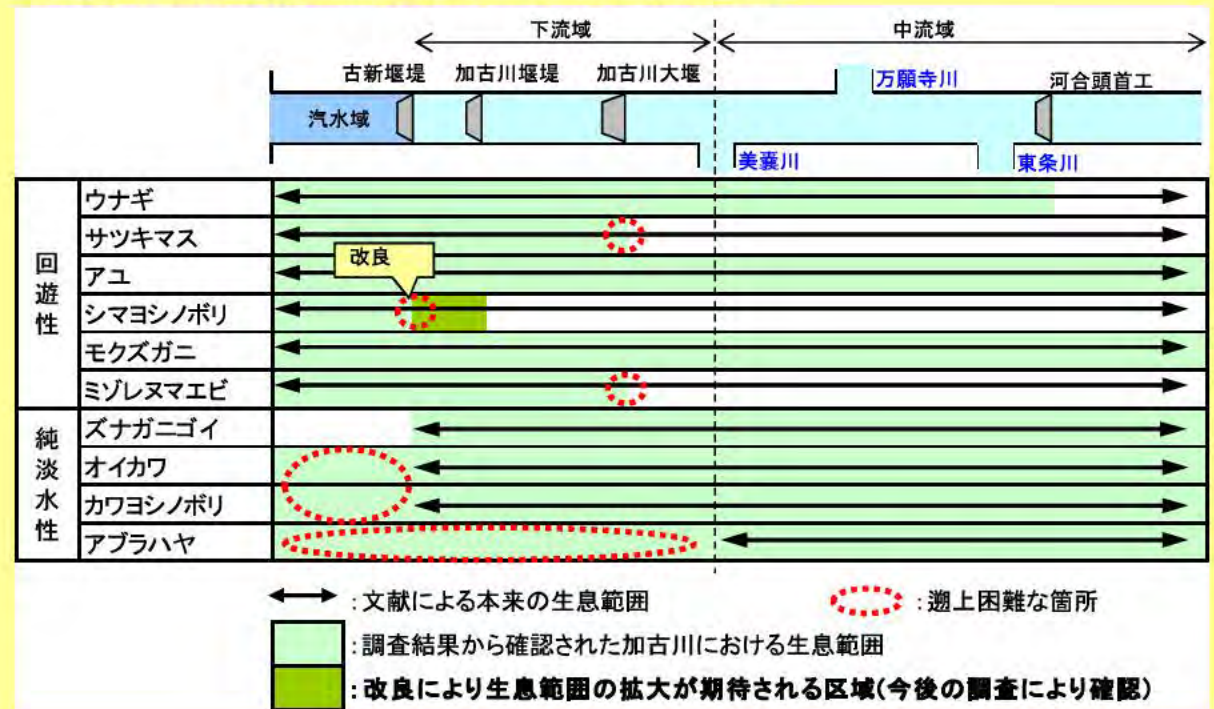
阿形床固め(現状)



(加古川大堰 階段式魚道)



「魚類、甲殻類の移動の連続性」の整備の進捗状況



「河川管理」に関する主な実施内容

「堤防の維持管理」に関する「加古川水系河川整備計画」の記載内容

堤防について、日常的な点検や、出水期前の全川徒歩による詳細な点検を実施する。（「加古川水系河川整備計画」P67）

平成23年度「堤防の維持管理」の実施内容

堤防について、日常的な点検や出水期前の詳細な点検を実施しました。



堤防点検の実施状況

「加古川大堰の維持管理」に関する「加古川水系河川整備計画」の記載内容

加古川大堰について、24時間体制で監視を実施するとともに、機械設備や電気通信施設、土木施設等の点検を実施する。（「加古川水系河川整備計画」P67）

平成23年度「加古川大堰の維持管理」の実施内容

加古川大堰について、24時間体制で監視するとともに機械設備や電気通信施設、土木施設等について点検を実施しました。



施設点検の実施状況

「樹木の維持管理」に関する「加古川水系河川整備計画」の記載内容

洪水を安全に流下させるために支障となる樹木は伐採するとともに、発達した樹木については、生物の生息・生育・繁殖の場に配慮した輪伐による計画的伐採を実施する。（「加古川水系河川整備計画」P68）

平成23年度「樹木の維持管理」の実施内容

洪水を安全に流下させるために支障となる樹木は伐採するとともに、発達した樹木については、生物の生息、生育、繁殖の場に配慮した輪伐による計画的伐採を実施しました。



樹木伐採の実施状況

「河川管理に係わるコスト縮減」に関する「加古川水系河川整備計画」の記載内容

「堤防」に関する記載・・・

堤防の変状確認のため梅雨時期と台風時期を目途に堤防除草を実施するとともに、コスト縮減方策のための検討を実施する。さらに、堤防除草により発生した刈草の有効利用について検討を実施する。必要に応じて、地域住民と協働した有効利用の取り組みを実施する。（「加古川水系河川整備計画」P67）

「加古川大堰」に関する記載・・・

施設のライフサイクルコストを勘案し、効率的、効果的な施設の機能維持を実施する。（「加古川水系河川整備計画」P67）

「樹木の管理」に関する記載・・・

伐採した樹木について、有効利用について検討を実施する。必要に応じて、地域住民と協働した有効利用の取り組みを実施する。（「加古川水系河川整備計画」P68）

平成23年度「河川管理に係わるコスト縮減」の実施内容

加古川大堰のコスト縮減に関し、ライフサイクルコストを勘案して、加古川大堰の塗装を従来のポリウレタン樹脂塗装からフッ素樹脂塗装に変更して長寿命化を図りました。



大堰管理橋塗装の状況

樹木の管理として、伐採した樹木の有効利用縮減に関し、処分費削減のための伐木の無償配布を実施しました。

加古川水系河川整備計画	平成24年度	第1期	24年度	1月18日	15時00分
<p>加古川で伐採した樹木の無償配布を実施します。 ～伐採した木は無料で持ち帰れます～</p> <p>「河川管理に係わるコスト縮減」に関する記載・・・</p> <p>堤防の変状確認のため梅雨時期と台風時期を目途に堤防除草を実施するとともに、コスト縮減方策のための検討を実施する。さらに、堤防除草により発生した刈草の有効利用について検討を実施する。必要に応じて、地域住民と協働した有効利用の取り組みを実施する。（「加古川水系河川整備計画」P67）</p> <p>「加古川大堰」に関する記載・・・</p> <p>施設のライフサイクルコストを勘案し、効率的、効果的な施設の機能維持を実施する。（「加古川水系河川整備計画」P67）</p> <p>「樹木の管理」に関する記載・・・</p> <p>伐採した樹木について、有効利用について検討を実施する。必要に応じて、地域住民と協働した有効利用の取り組みを実施する。（「加古川水系河川整備計画」P68）</p>					
<p>伐木無償配布の案内（HPにて）</p>					



平成24年3月10日 配布状況

平成24年度

加古川水系河川整備計画進捗状況報告（4/4）

「河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持」に関する主な実施内容

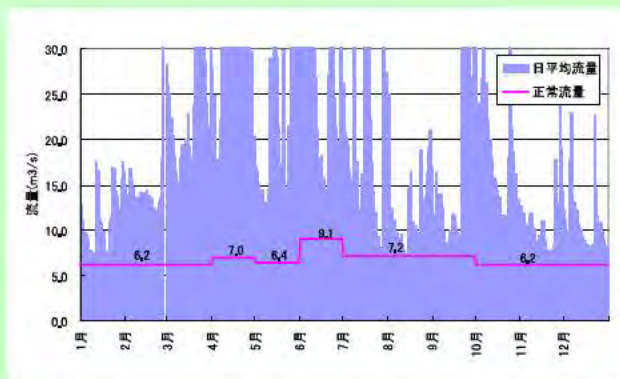
「正常流量の確保」に関する「加古川水系河川整備計画」の記載内容

流水の正常な機能を維持するために、関係者との調整により広域的かつ合理的な水利用の継続を図り、正常流量の確保に努める。（「加古川水系河川整備計画」P63）

平成23年度「正常流量の確保」の実施内容

流水の正常な機能を維持するために、関係者との調整により広域的かつ合理的な水利用の継続を図り、正常流量の確保に努めました。

正常流量：流水の正常な機能を維持するために必要な流量で、加古川では国包地点において、しろかき期概ね $9\text{m}^3/\text{s}$ 、その他の機関概ね $7\text{m}^3/\text{s}$ に定められています。



平成20年 国包地点の日平均流量

「関係機関との濁水調整」に関する「加古川水系河川整備計画」の記載内容

濁水時には、「加古川下流部濁水調整協議会」を開催し、関係機関との情報交換や濁水調整を実施する。（「加古川水系河川整備計画」P63）

平成23年度「関係機関との濁水調整」の実施内容

平成23年度では水利用に影響を及ぼすほどの著しい濁水は生じていなかったため、幸いにも濁水調整会議を開催することはありませんでした。

「地域住民との連携」に関する主な実施内容

「地域住民との連携」に関する加古川河川整備計画の記載内容

治水、環境、維持管理のモニタリングにおいて地域住民や地域で活動されている方々と一体となった取り組みを実施する。

また、地域の実情に合わせ、多様化や高度化した地域住民のニーズに応えた河川整備を実現していくために、地域住民、地域で活動されている方々、河川管理者が一体となった取り組み、または、地域の自発的な活動やその活動を行う人材の育成、地域住民間の交流を支援することで、地域の力を活用した、それぞれの個性を活かした川づくりを実施する。（「加古川水系河川整備計画」P70）

平成23年度「地域住民との連携」の実施内容

平成23年8月に、高校生、加古川市職員の方々と合同で、加古川の河川水質の現状を把握するための水生生物調査を実施しました。



水生生物調査の実施状況（平成23年8月 加古川地点）

地域住民、地域で活動されている方々の行う「河川清掃」などの取り組みに対して、合同参加あるいは資材提供という形で協力しました。

また、地域の防災に関する人材の育成等のために防災講座（加古川地区、小野地区）を開催しました。



防災講座（平成24年3月 小野地区）